

環境リサイクル肉牛協議会第 19 回総会
特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会第 10 回通常総会

【議事録】 総会議案書に基づく

開催日時：2018 年 6 月 2 日（土） 午前 10 時 00 分から ランチョ・エルパソ

会議次第

1. 総会成立の要件 出席者数 12 委任状数 6 有効成立率 $18/30=60\%$
2. 開会挨拶
嶋村理事長；総会も 19 回を迎えました。良くやってきたと感慨深いです
3. 議事録署名人 1 名の選出、書記 1 名選出
議事録署名人；左 久理事 書記；岩崎氏(マルハニチロ(株)) 選任了承
4. 議事
議長選出；嶋村理事長
議案説明；花房事務局長
 - 1) 第 1 号議案 2017 年度事業報告及び収支決算に関する件 下記記載 ⇒承認
監査報告 奈良岡監事；事業をより活発にしてください
 - 2) 第 2 号議案 2018 年度事業計画及び収支予算に関する件 下記記載 ⇒承認
質疑応答は別記
 - 3) 第 3 号議案 そのほかの提案事項
役員は 2 年任期(2017～2018 年度)なので改選ありません
5. 閉会

第 1 号議案

I. 2017 年度事業報告

1. 2017 年度会員募集 (2018 年 3 月末)

個人会員	17 名 (+1)	
団体会員	13 団体(+1)	合計 30(+2)
内訳)	生産者・生産者団体	11(-1+3)
	食肉流通業者	2(-1)
	消費者団体	1
	学研・指導機関	10(+1)
	飼料業者	6(±1)

2. 総会・理事会等の開催

1) 2017 年度第 18 回総会(NPO 法人第 9 回通常総会)

2017 年 6 月 3 日(土)ホテルグランテラス帯広 出席 12 名委任状 10 名 合計 22 名
・ 2016 年度事業報告・決算報告

- ・2017年度事業計画・予算 以上承認
- ・役員改選；榛澤理事長が体調不良から退任し、理事長に嶋村副理事長、ほか理事は留任

2) 理事会

- 第1回 2017年6月3日(土) グランテラス帯広 総会前打合せ
- 第2回 2017年11月8日(水) とかちプラザ シンポジウム前日打合せ
- 第3回 2018年1月26日(金) 新得町 北海道畜産試験場研修施設：8名
①シンポジウム総括 ②新年度事業
- 第4回 2018年4月20日(金) とかちプラザ 2018年シンポジウム企画打合せ

3) カルビー ポテトピール検討会；開催できず

3. 学術情報の収集と肉牛飼養技術研修会の開催

1) 学術情報の収集

関連加入団体 8ヶ所 年会費 35,000円

肉用牛研究会 (事務局/京都大学 年会費/3,000 個人窓口/左)

日本畜産学会 (東京 公益社団法人 4,000 左)

日本産肉研究会 (東北大学大学院農学研究科 5,000 団体)

畜産システム研究会(京都大学畜産資源学 3,000 花房)

北海道畜産技術連盟(北海道酪農畜産協会 4,000 左)

北海道肉牛研究会 (道総研 畜産試験場 3,000 花房)

北海道アンガス牛振興協議会(内藤会長 3,000 花房)

北海道オーガニックビーフ振興協議会(帯広市 10,000 花房)

2) 肉牛飼養技術研修会の開催

第1回 6月4日(土) 10:00~場所：ホテルグランテラス帯広 参加 17名

- ・道産牛肉のおいしさについて(仮)道総研 畜産試験場 大井 幹記研究員

第2回 1月26日(金) 14:00~場所：新得町 北海道畜産試験場内研修施設

参加者 15名

- ・宮北牧場(北広島)調査報告ー牧草サイレージと食品副産物を利用した育成肥育
道総研畜試 肉牛G 遠藤哲代氏

4. 第14回資源循環型肉牛生産シンポジウム2017の開催

(1) シンポジウムテーマ：「マイナー(希少)品種の赤身生産と流通」

日時：2017年11月9日(木) 13:00-17:00

会場：とかちプラザ(帯広市)2階 視聴覚室

内容：

1. 基調講演 「日本の赤身牛肉生産とその流通」
弘前大学農学生命科学部 松崎 正敏教授
2. 話題提供
 - I. 「釧路の風土に適したアンガス種にほれて」榛澤牧場(釧路市)榛澤保彦代表
 - II. 「ジャージー牛肥育の取組」(株)関谷牧場(新得町)関谷達司代表取締役

Ⅲ. 「希少肉専用種の流通を手掛けて」パルシステム生活協同組合連合会 産直
商品部 江川淳部長

Ⅳ. 「‘最新’赤身牛肉の評価基準」帯広畜産大学 口田圭吾教授

3. パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表 90名参加

4. ホテルグランテラス帯広 食味試験 帯広畜産大学 口田研究室主催
意見交換会 eびーふ試食会 55名参加

5. 現地検討会：11月10日(土)午前中 新得町 関谷牧場 25名参加

5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

1) 月刊情報誌「e-びーふ NEWS 北の牧場から」 毎月発行する。

2) ホームページ：インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

インターネットアドレス変更：ドメインを e-beef.jp に変更

ホームページ <http://www.e-beef.jp/> 事務局アドレス kanrikyo@e-beef.jp

6. 「e-びーふ」認証事業 定款5条1-①

1) 新たなe-びーふ認証農家の発掘できず。

2) 「e-びーふ」の商標登録10年間権利保持(2023年まで)

7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

1) 飼料事業の検討：e-びーふ事業を検討/事業化準備

2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
北海道アンガス牛振興協議会との連動

8. 2017年度収支決算報告

収入の部

項 目		予 算	決 算	備 考
1)会費・入会金	個人	108,000	116,000	16 人
	団体	280,000	240,000	12 団体
	入会金			
2)寄付金	シンポジウム協力金	88,000	60,000	北ア協、北海道短角牛振興協議会
	事業助成金	30,000	26,000	十勝農協連
3)助成金				
4)事業収入	普及活動事業参加費	250,000	224,500	e-びーふ試食・意見交換会参加費
5) その他の収入		75,000	90,000	有機 JAS 格付業務委託費
	受取利息	4	4	北洋銀行
6) 前期繰り越し金		319,703	319,703	

合 計		1,150,707	1,076,207	
支出の部				
科 目	予 算	決 算	備 考	
事業費				
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	50,000	0	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	100,000	111,372	学会・研究会情報収集・旅費交通費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	100,000	0	
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	400,000	467,420	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	100,000	130,240	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	50,000	0	理事旅費・事務局交通費
	通信費	6,000	1,656	NTT 電話代、郵送料
	会議費	50,000	31,986	総会経費
	備品・消耗品費	5,000	0	
	賃借料	0	0	
	手数料	60,000	53,860	会計処理料,
	予備費	74,707	0	
合 計		995,707	796,534	
繰越金		319,703	279,673	
預金	北洋銀	470,397	393,505	
現金		4,306	11,168	
前払い費用		0	0	
(小計)		474,703	404,673	
未収入金		0	30,000	
売掛金		0	0	
合計		474,703	434,673	
未払金				
預り金		155,000	155,000	左理事
繰越金		319,703	279,673	
合計		474,703	434,673	

監査報告

2017年度収支決算について監査の結果、各項目毎に正確・適正に処理されている事を認めます。

2018年6月2日

監事 内藤 順介

監事 奈良岡 武任

第2号議案

Ⅱ. 2018年度事業計画

1. 会員募集

目標会員数 35 名以上を目指す。

新規加入 明治飼糧(株)北海道事業本部(担当；森内係長)

挨拶：このような畜産事業の取組に協力してゆきます

2. 総会・理事会の開催

- 1) 2018 年度第 19 回総会(NPO 法人第 10 回通常総会)
- 2) 理事会、事務局会議は必要に応じ開催する。

3. 学術情報の収集と飼養技術研修会の開催 定款5条1-②

- 1) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査および参加。
- 2) 自給飼料・副産物活用型牛肉生産に関する飼養技術研修会の開催。
年 2 回 2018 年 6 月、2019 年 1 月予定
- 3) JAS 有機の格付委託業務（北里 FSC 八雲牧場からの受託、有機牛の肉質調査）

4. 第 15 回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2018 の企画・開催

定款5条1-④ 別紙開催企画書添付

- 1) 2018 年 11 月 8 日(木) 13:00-17:00 帯広畜産大学 講堂
- 2) テーマ「家畜の福祉と牛肉生産」
- 3) 基調講演/ (株)グッドテーブルズ 社長 山本謙治氏(農畜産物流通コンサルタント)
話題提供/日本産肉研究会から 3 題、環境リサイクル肉牛協議会 3 題
「アニマルウェルフェアの評価基準」帯広畜産大学 瀬尾哲也氏(一社 AWF 畜産協会)、
「赤身評価の最近情報」帯広畜産大学教授 口田圭吾氏ほか

5. 機関誌発行・ホームページ編集 定款5条1-⑤

- 1) 「e-びーふ NEWS 北の牧場から」の月刊情報誌の編集・発信。年 12 回
- 2) ホームページ・インターネットを利用し情報を公開・発信する体制の充実を図る。

6. 「e-びーふ」認証事業の活性化 定款5条1-①

- 1) 新たな e-びーふ認証農家の発掘。
- 2) 認証適格農場の実態調査。
- 3) 「e-びーふ」の商標の活用

7. 肥育モデル作成事業 定款5条1-③

- 1) 飼料事業の検討：e-びーふ事業化推進
- 2) アンガス飼養実態調査・統一飼養マニュアル作成
→北海道アンガス牛振興協議会・北海道オーガニックビーフ振興協議会(HOBA)と連動
各牧場定期調査・分析・検討会の開催

8. 2018 年度予算案

収入の部

項 目		前年度決算	予 算	備 考
1)会費・入会金	個人	116,000	108,000	今年度分 18 人 内過年度分 0 人
	団体	240,000	260,000	今年度分 13 団体 内過年度分 1 団体
	入会金	0		
2)寄付金	シンポジウム協力金	60,000	160,000	日本産肉研究会、北ア協、北短協
	事業協力金	26,000	26,000	十勝農協連
3)助成金		0		
4)事業収入	普及活動事業参加費	224,500	240,000	e-びーふ試食・意見交換会参加費
	賦課金	0	60,000	e-びーふ格付@4,000
5) その他の収入		90,000	90,000	有機 JAS 格付業務委託費
	受取利息	4	4	北洋銀行
6) 前期繰り越し金		319,703	279,673	
合 計		1,076,207	1,223,677	

支出の部

科 目		前年度決算	予 算	備 考
事業費				
定款 5 条 1 ①	e-びーふ認証事業費	0	50,000	e-びーふ農家経営事例調査立会い
定款 5 条 1 ②	調査研究事業費	111,372	100,000	学会・研究会情報収集車両費
定款 5 条 1 ③	肥育モデル作成事業	0	100,000	e-びーふ、アンガス肥育マニュアル
定款 5 条 1 ④	講演会開催事業費	467,420	500,000	シンポジウム、飼養技術研修会
定款 5 条 1 ⑤	機関誌発行事業費	130,240	130,000	機関紙発行/インターネット回線利用料
一般管理費	旅費・交通費	0	10,000	理事旅費・事務局交通費
	通信費	1,656	2,000	NTT 電話代、郵送料
	会議費	31,986	30,000	総会経費
	備品・消耗品費	0		
	賃借料	0		
	手数料	53,860	60,000	会計処理料, 会計ソフト freee
	予備費	0	86,677	
合 計		796,534	1,068,677	
差引		279,673	155,000	
預り金		155,000	155,000	左理事
繰越金		279,673	0	
合計		434,673	155,000	

《質疑応答》

- ・ シンポジウム開催企画書にて産肉研究会としては、3 題話題提供したい
- ⇒花房事務局長； 基調講演 1 題残りの時間を考えると通常4題が限界である。今回は懇親会を帯広畜産大学学内で行うので時間の融通が利きそうである。全体の進行含め担当の佐藤理事、畜産試験場と企画内容詰めます
- ・ シンポジウムの内容から話題提供に販売者または消費者側から 1 題ほしい
- シンポジウムの申込先に、産肉研究会も入れてほしい
- ⇒花房事務局長；企画書の内容を詰めてゆき反映させたい

第3号議案 その他

1. 協議会の運営体制

- 1) 総務担当 協議会の運営、会計事務/クラウド会計 freee (事務局)
 - 2) NPO 法人会計事務 外部委託：竹川会計事務所
 - 3) 肉牛関連学会・研究会の学術情報調査 (左理事)
 - 4) 飼養技術研修会の運営 (畜試)
 - 5) 資源循環型肉牛生産シンポジウムの運営 (畜試・事務局)
 - 6) e-びーふ news 編集・ホームページ担当 (事務局)
 - 7) 「e-びーふ」認定委員会 (畜試)
 - 8) 補助事業申請・運営 (事務局)
 - 9) 飼料事業の推進 (畜試・事務局)
 - 10) アンガス飼養実態の調査分析検討会の開催 (畜試・事務局)
- 事務局体制の充実：

2. 肉牛事業について

- 1) e-びーふ経産牛の肥育事業；
2018/6月 きのe-びーふ生産開始
11月 初出荷（肥育状況次第）

以上。

総会 嶋村理事長挨拶



肉牛飼養技術研修会 小笠原 英毅助教

